

# SAMPLE

## 危険有害性絵表示:



## 危険有害性情報:

- H304: 気道に侵入すると生命に危険のおそれ、飲み込み。
- H340: 遺伝性疾患のおそれの疑い。
- H372: 長期または反復暴露による臓器の障害。
- H318: 重篤な眼の損傷。
- H316: 皮膚に対する刺激性 (軽度の刺激性)。
- H332: 吸入すると有害(気体、蒸気、粉塵、ミスト)。
- H412: 長期的影響により水生生物に有害。

## 注意書き (予防策):

- P201: すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
- P210: 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。
- P241: 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。
- P280: 保護手袋、保護眼鏡または保護面を着用すること。
- P261: 蒸気か煙を吸入することを避けること。
- P264: 取り扱い後はよく手を洗うこと。
- P270: この製品を使用する時は、飲食又は喫煙をしないこと。
- P262: 眼、皮膚、衣類につけないこと。
- P273: 環境への放出を避けること。

## 保管:

- P403+235: 涼しく換気の良い場所で保管すること。

## 廃棄:

- P501: 国際/国/都道府県/市町村の規定 (明示する) に従って処理すること。

※詳しい内容はMSDSをご参照ください。

## 成分:

- 潤滑油基油: 脱硫ケロシン: 80%
- 重質パラフィン系溶剤精製留出油(石油) 10%-15%
- 添加剤: 5%-10%

## 注意喚起語: 危険

## 対応:

- P370+380+376+378: 火災の場合に、危険区域から立ち退く。安全に対処できるならば、漏洩を停止する。適切な消火器を使用して消火する (例えば、耐アルコール用泡消火器、粉末消火剤、炭酸ガス消火器)。
- P377: 漏洩ガス火災の場合には: 漏洩が安全に停止されない限り消火しないこと。
- P305 + P351 + P338: 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合は外して洗うこと。その後も洗浄を続けること。
- P302+352: 皮膚に付着した場合には、大量の水及び石鹼を使用して洗い落とす。
- P301+330+331+312: 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。気分が悪い時は、医者への診断、手当てを受けること。
- P304+340+312: 吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪い時、異常を感じた時は、地域の毒物管理センターに電話して、その指示に従う、或いは医師の手当てを受ける。
- P362: 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

提供者: 株式会社 ○○○○○

住所: 〒\*\*\*-\*\*\*\* ○○○○○○○○○○○

電話番号: 0\*\*-\*\*\*-\*\*\*\*

緊急連絡先: 0\*\*-\*\*\*-\*\*\*\*

FAX: 0\*\*-\*\*\*-\*\*\*\*